

FANCT

旭川工業高等専門学校 学校だより“ファンクト”



vol.
117

平成25年12月発行

Contents

特集1

先輩たちに学べ!就活・進活! —— 2

特集2

世界へ翔たけ!～旭川高専国際化の今～ - 6

連載企画

ANCTOPICS	11
僕たち・私たちの青春!	12
先生の横顔	13
こんな授業やってます	13
ANCT VOICE	14
平成25年度行事予定	16



ニュージーランド・イースタン工科大学語学研修の様子
(小学校での出前理科実験教室)

特集1 先輩たちに学べ！就活・進活！



旭川高専における就活・進活の流れ

1~3
年生

自分は将来どんなことをしたいのか、就職か進学か、
将来のビジョンへの意識付けをする。

就職組

新聞やニュースの情報などから視野を広げて色々な業種について考えましょう。また、TOEICのスコアが必要な会社も増えていますので、早めに勉強を始めましょう。

進学組

自分の希望する大学に行けるかどうかは、1~3年生の成績次第です。普段の勉強を怠らず、TOEICについても早めに取り組みましょう。

4年生

春～秋

希望する業種・目標を考える
インターンシップ、学校で行う適性検査、就職実践模試、企業説明会などに参加し、イメージを膨らませましょう。

1月頃
具体的な会社を決める

学級担任との面談などにより、具体的なビジョンを持ちます。
この時期になると、企業の人事担当者の学校訪問が活発になるので、説明を受けた学級担任がマッチングすることもあります。

3月頃
履歴書の作成を進める

5年生

4月
就職活動スタート

本校に求人が届いている企業へは、ほぼ学校推薦しています。
学校推薦の場合、書類審査は無く、すぐには面接が始まることが多いです。面接の回数や筆記試験の有無は企業によって異なります。

※もちろんこの流れが全てではありません。低学年のうちから目標を持って取り組むことが大切です。
※平成25年度現在の流れです。今後就職活動時期が後ろ倒しになる可能性があります。

PICK UP インターンシップって何？

インターンシップとは、企業や大学などで、就業・研究体験を行う制度です。

将来の進路選択において具体的なイメージを持ち、自分の適性や能力について考える機会となります。

本校では、本科4年生の選択科目及び専攻科1年生の必修科目になっており、本科4年生においては、今年度は99名の学生が参加しました。

インターンシップ参加学生の声

Q1 インターンシップに参加した企業は？

株式会社NTTファシリティーズ北海道

Q2 インターンシップに参加しようと思った理由は？

就職を考えており、実務というものを見ておきたかったから。

Q3 その企業を選んだ理由は？

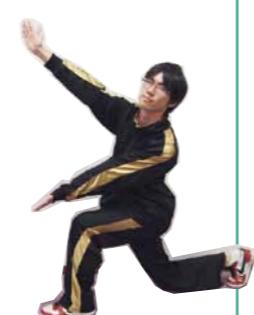
研修が道内で行われ、もし就職できたら道内の勤務になるため。

Q4 インターンシップに参加してみてどうでしたか？

インターンシップでは、学校では経験することができないことをたくさん経験させていただきました。研修のほかに、NTTグループ以外の企業や大学のことなど進路選択のためにとても有意義な話を聞かせていただくことができ、自分が今後どんなことをしていくべきなのか考えるきっかけとなりました。

Q5 後輩へ一言アドバイスをお願いします

もし、インターンシップに参加するのであれば、失敗すること、わからぬことを恥ずかしいとは思わず、積極的に研修に取り組んだり、質問したりするなどして、企業が用意した研修内容以上のことを学んでやろうという気持ちを持つてみてください。



電気情報工学科4年
日向 混輔

就職学生の声

Q1 内定を得た企業は？

株式会社 JALエンジニアリング

Q2 その企業を志望した理由は？

子供の時から空を飛ぶ飛行機に憧れ、すごくかっこいいと思っていました。そして、いろいろな刺激を受けて成長していく中で飛行機の整備士になりたいと考えるようになりました。旭川高専に進学しました。就活を始めた頃、ちょうどこの会社から求人が来たので、職場見学に行って現場の雰囲気や詳しい仕事内容を確認してきました。その見学を通して、他社より大きな魅力を感じたため、ここを受けようと決めました。

Q3 ちなみに何社くらい受けましたか？

1社

Q4 就職に関して、いつ頃からどんな準備をしましたか？

1年前の4年生の時にインターンシップに参加し、現場の声を聞いて、職場の雰囲気や業務内容などの得たことを就活に役立てました。

Q5 面接対策としてどんな事をしましたか？

面接の対策をやり過ぎると準備していない急な質問に対応できなくなると思ったので、面接の練習は少しにしました。自分なりのやり方を見つけるのが一番です。

Q6 就活中に心がけていたことは？

万が一落ちたら…なんてことは考えずに、「絶対に受かる!」という気持ちでいることを心がけました。

電気情報工学科5年
一刀 理祥

Q7 後輩へ一言アドバイスをお願いします！

自分の目指すものをはっきりさせて、本当にやりたい職に就きましょう！

Q1 内定を得た企業は？

物質化学工学科5年

菅原 翔太

Q2 その企業を志望した理由は？

4年生の夏休みにインターンシップを経験して、会社の方々の雰囲気の良さと製品に魅力を感じたからです。



Q3 ちなみに何社くらい受けましたか？

1社です。

Q4 就職に関して、いつ頃からどんな準備をしましたか？

試験が面接のみ分かっていたので約2ヶ月まえからとにかく面接対策を先生方にお願いをして繰り返し面接練習をもらいました。

Q5 面接対策としてどんな事をしましたか？

物質化学工学科の先生方に面接練習をお願いしました。また、過去の先輩の資料を参考に聞かれそうな質問を想定し、スマートに返答できるように繰り返し練習しました。

Q6 就活中に心がけていたことは？

まだ足りない精神。「これだけ面接練習しても本番は緊張するのだからまだやろう!」という根性です。

Q7 後輩へ一言アドバイスをお願いします！

満足するまで面接練習をし、試験があるなら早くから準備をすることでやっと自分らしさが伝わります。本番で動揺することないように、「備えあれば憂いなし!」です。

制御情報工学科5年
水戸 敬基

進学学生の声

Q1 合格した大学名を教えてください

山形大学工学部

Q2 その大学を志望した理由は?

自分の興味のある研究を行っており、自分もその研究に携わったかったから。

Q3 ちなみに何校くらい受けましたか?

3校

Q4 いつ頃から勉強や編入学試験に関する準備を始めましたか?

4年の夏から。

Q5 1日どのくらい勉強しましたか?

平日は3~6時間。
休日は時間を決めずに納得いくまで。

Q6 オススメの参考書や勉強方法を教えてください

基本的に教科書を使っていました。TOEICは「TOEICテスト書き込みドリル」が一番使いやすかったです。単語は「1分間英単語」がおすすめです。

Q7 後輩へ一言アドバイスをお願いします!

編入はデータも少なく、共闘する友達が少ない
ので孤独な戦いになります。
最後まで意識を高く持って頑張ってください。

機械システム工学科5年
尾崎 敬祐

Q1 合格した大学名を教えてください

北海道大学

Q2 その大学を志望した理由は?

場所が北海道だから。

Q3 ちなみに何校くらい受けましたか?

3校

Q4 いつ頃から勉強や編入学試験に関する準備を始めましたか?

4年生の冬休み明け。

Q5 1日どのくらい勉強しましたか?

5時間程度

Q6 オススメの参考書や勉強方法を教えてください

「編入学数学過去問特訓」(櫻井 基晴/著)
TOEICのスコアが必要な人は早い段階に取つておけば楽になるでしょう。

Q7 後輩へ一言アドバイスをお願いします!

出来るだけ早く始めましょう。
早く始めるだけ周りに差をつけれます。

制御情報工学科5年
橋本 航

Q1 合格した大学名を教えてください

東北大学(理学部物理学科)

Q2 その大学を志望した理由は?

高専から編入できる物理学学科で1番目か2番目くらいにレベルの高い大学だから。

Q3 ちなみに何校くらい受けましたか?

3校

Q4 いつ頃から勉強や編入学試験に関する準備を始めましたか?

数学は4年の初め頃から。
物理は4年の2月頃から。

Q5 1日どのくらい勉強しましたか?

やる時は一日中、やらない日は全くやらない。

Q6 オススメの参考書や勉強方法を教えてください

・ファインマン物理学(特にI、II巻)
・解答を見ずに自分で解いた答えを検証する。

Q7 後輩へ一言アドバイスをお願いします!

高専からの編入は工学系が全てじゃないよ!!



電気情報工学科5年
辻川 尚輝

専攻科学生の声

【就職】

Q1 内定を得た企業名

株式会社 日立パワーソリューションズ

Q2 その企業を志望した理由は?

電力・エネルギー、社会・産業、情報・制御、保守サービスといった様々な分野の事業をワンストップサービスで提供できる高い技術力に魅力を感じたからです。

Q3 ちなみに何社くらい受けましたか?

4社

Q4 就活に関して、いつ頃からどんな準備をしましたか?

12月頃にリクナビに登録して就活EXPに参加し、興味を抱いた企業にエントリーしました。その時期にSPIの勉強を開始し、1~3月にエントリーした企業の説明会に参加しました。それから、エントリーシートを提出しました。

Q5 面接対策としてどんな事をしましたか?

まず、面接対策の本を読み、実際に面接で質問されるような内容を確認しました。その内容に対する回答とエントリーシートに書いた内容を頭に入れて面接に臨みました。

Q6 就活中に心がけていることは?

前向きかつ自主的に就活を行うように心がけました。また、面接時には自分の考えを自分の言葉で明確に面接官に伝えるように心がけました。

Q7 後輩へ一言アドバイスをお願いします!

就活は今後の人生を決める重要なイベントです。後悔しないためにも自主的に企業研究や対策を行い、希望した企業に就職できるように頑張って下さい。



生産システム工学科専攻2年
駒場 俊介

【進学】

Q1 合格した大学名を教えてください

北海道大学(大学院総合化科学院)です。

Q2 その大学を志望した理由は?

最近、新たな研究を立ち上げましたが、その内容が大変奥深くもっと学びたいと思いましたので、この研究を続けていける大学院に決めました。

Q3 ちなみに何校くらい受けましたか?

2校です。

Q4 いつ頃から勉強や大学院入学試験に関する準備を始めましたか?

4年の夏から。

Q5 1日どのくらい勉強しましたか?

受験の3か月前から始めました。

Q6 オススメの参考書や勉強方法を教えてください

勉強するときは、まず、受験する大学院の過去問を徹底的に解いてください。すべて解けるようになってから、参考書にとりかかると良いと思います。わからないところは、必ず先生や友達にききましょう。

Q7 後輩へ一言アドバイスをお願いします!

人の心はすべて捨て去って、受験勉強をしましょう(笑)大学院へ進学する人は頑張ってください。



応用化学専攻2年
平賀 拓也

Q1 合格した大学名を教えてください

名古屋大学。

Q2 その大学を志望した理由は?

自分がやりたいと思っていたことと合致するような研究を行っていたため。

Q3 ちなみに何校くらい受けましたか?

Q1 合格した大学名を教えてください

名古屋大学です。

Q2 その大学を志望した理由は?

自分がやりたいと思っていたことと合致するような研究を行っていたため。

Q3 ちなみに何校くらい受けましたか?

2校ですね。

Q4 いつ頃から勉強や編入学試験に関する準備を始めましたか?

今年に入ってから。

Q5 1日どのくらい勉強しましたか?

あまり勉強時間は気にていませんでしたが、平均すると1日3、4時間程度だと思います。試験の1ヶ月前くらいからは特に力を入れて勉強していました。

Q6 オススメの参考書や勉強方法を教えてください

勉強していく解けない問題や分からないう�があるのですが、すぐには人に頼らずなるべく自分で考えてみたほうが良いです。思考する力が伸びます。

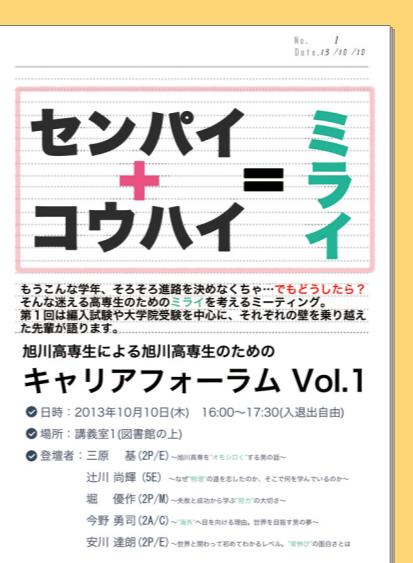
Q7 後輩へ一言アドバイスをお願いします!

英語の試験の代わりにTOEICのスコアを使う大学が増えています。編入試験まで受けられる回数も限られていますが、なるべく多くのTOEICを受験した方が良いと思います。がんばって!



制御情報工学科5年
川上 太郎

旭川高専生による 旭川高専生のための キャリアフォーラム



自分の進路を考えたとき、みなさんは誰に相談しますか?
先生?親?

でも、みなさんの将来に対する漠然とした不安を一番分かってくれるのは、同じ経験をした先輩達かもしれません。

どうしたらいいか分からない…そんな迷える後輩達のため、2P三原 基君を中心に専攻科の学生たちが企画したのが「旭川高専生による旭川高専生のためのキャリアフォーラム」です。

10月10日(木)に開催されたこのフォーラムでは、進路のこと、海外へ行って感じたこと、色々な人の関わりから刺激を受けたことなど、悩み、考えながら成長し、自ら未来を切り開いていった先輩達が、後輩達へ熱いメッセージを送っていました。

後輩達も熱心に聞き入り、自分たちの悩みや質問をぶつけて直接アドバイスをもらうなど、とても充実した様子でした。

今後も開催される予定があるので、興味のある方はぜひ参加してみてはいかがでしょうか。



特集2

世界へ翔たけ！ －旭川高専国際化の今－

本校では教育の基本方針の一つとして、「国際的に活躍できる人材の育成」を掲げており、国際社会で活躍する技術者として必要な能力を養うため、国際交流や英語教育に力を入れています。

ニュージーランド・イースタン工科大学語学研修

私たちが
行ってきました！



平野：まず、みんなが研修に参加した理由を教えてくれるかな？

小島：元々外国に興味があって、2回程短期留学みたいなをしたことがあったんです。いろんな国に行って新しいものを見るのは、自分のやる気にも繋がってくるし、そういうのが好きなので参加しました。

安田：自分も海外に2回程行ったことがあって、海外経験をもっと増やしたいなと思って参加しました。

高久：海外に元々興味があつたんですが、1度も行ったことがなかったので、良い機会だと思って参加しました。

谷口：私も海外に行きたいと思っていたし、英語を勉強するのが好きなので、勉強のいい材料になればいいなと思って参加しました。

榎：私は逆に英語が苦手なので、少しでも英語が好きになればいいなと思って。

藤野：私は知り合いに短期留学に行っていた人がいて、その人の話を聞いて面白いと感じたのと、こういうことができるは学生のうちだけだから、機会があれば行った方がいいって言われて決めました。

平野：ニュージーランドに到着して第一印象はどうだった？

小島：飛行機に乗って間、自然がすごくきれいで、広くて圧倒されました。

平野：向こうの季節って？

小島：冬ですけど、北海道ほど寒くはなかったです。

安田：雪も無いし。

藤野：日中タンクトップで歩いている人がいたよね。

小島：日が出たら暑かったです。

榎：風はすごく冷たかったけどね。

平野：そしたら北海道にいる時とそんなに違和感なかったのかな？

安田：そうですね。北海道の10月くらいの感じでした。

平野：ホームステイで印象深かったことがあれば教えてくれるかな？

小島：ホストファザーがキリスト教色の強い人で、食事の前にお祈りをしたり、日曜日の午前中に教会へ行って、午後からはみんなで集まって聖書を読んだりパーティみたいのをしてました。

安田：キリスト教関係のこともそうですけど、ホストマザーの知り合いで大きな農場を経営している人がいたんで、そこに連れて行ってもらって、色々経験させてもらいました。

平野：やっぱり北海道の農場とは全然雰囲気が違った？

安田：全然違いますね。もう広さが違います。

高久：私の所は宗教とかなかったんですけど、小さい男の子が2人いて、家にトランポリンがあって楽しかったです。

平野：みんなホームステイは1人だったの？

小島：苦小牧高専の人と一緒にでした。

谷口：私は1人でしたけど、違う国的人はいました。

小島：ニュージーランドは色んな国から留学生が来てるみたいで、僕のところも高専生の他に中国人がホームステイしていました。

平野：じゃあ、向こうの人はホームステイを受け入れることに慣れてるんだね。

谷口：私は高専生1人だけだったんですけど、ブータンとドイツの人がホームステイしていて、一緒に学校へ行ったり、その人の友達と話したりもしました。

榎：私のところは、ホストマザーがフィリピンの方で、色んな国で行っていたみたいで、ニュージーランドの料理だけじゃなく、タイ料理とか、他の国の料理もいっぱい作ってくれて、すごく美味しいかったです。

藤野：うちは普通でした。宗教もなかったし、ほぼ自分の家みたいに過ごしました(笑)冷蔵庫も勝手に開けて食べていよいよてゆるやかな感じでした(笑)

平野：語学研修どうだった？

物質化学工学科4年
安田 憲司



物質化学工学科4年
谷口 摳実



物質化学工学科4年
高久 里菜



物質化学工学科4年
榎 百合奈



機械システム工学科4年
小島 敦史



物質化学工学科4年
藤野 莉奈



本校では、夏期休業中、ニュージーランド・ネーピア市のイースタン工科大学(EIT)において、本科4・5年生の希望者を対象とした語学研修を実施しています。これは、道内4高専とEITとの学術交流協定に基づく連携事業として実施しているもので、今年度は7月26日(金)～8月11日(日)の日程で、7名の学生が参加しました。ホームステイをしながら、EITでの語学研修、現地小学校での出前理科実験教室など、色々な経験を通じて海外の人たちとのコミュニケーションや生の英語に触れた学生達に、研修の思い出や後輩達へのメッセージを語ってもらいました。

小島：僕は初級クラスだったので、結構易しかったです。

安田：僕も小島君と同じクラスだったので、内容は簡単だったんですけど、まぎらわしい発音とか、そういう細かいところを重点的に授業でやってました。

高久：私は小島君と安田君とクラスは違ったけれど、やっている内容は同じでした。

平野：授業は全部英語だった？

高久：日本語は一切使いませんでした。

平野：ほんと?(笑)すごいね。

榎：「NO JAPANESE」って言われてたもんね(笑)

谷口：私は中級のクラスだったので、長文読解や過去分詞等の文法を勉強したんですけど、クラスに日本人以外の人もいて面白かったです。

平野：授業を受けて、日本人と外国人の性格の違いとかってあった？

谷口：時間にルーズな人が多かったです。学校に来ない人や、遅刻する人がいました。

藤野：遅刻してきても先生は怒らないんです。「どうしたの?」「寝坊しました」「そう、早く座って」みたいな感じで。

平野：じゃあうちと大分違うね(笑)

一同：そうですね(笑)

藤野：授業中に携帯さわってる人がいても注意しないしね。

平野：みんなそれどう思った？隣で遊んでる人がいたらムカつとしない？

藤野：授業自体がアップテンポというかラフな感じなので、あまり気にならなかったです。

小島：堅苦しい感じじゃなくて、先生と生徒がコミュニケーションを取りながら授業が進んでいくんです。

安田：黒板やホワイトボードにどんどん書いていて授業するんじゃなくて、お互い喋りながら授業をしてました。

平野：ドキッ

一同：(笑)

藤野：ノートを取ってる人もいなかったですよ。お話ししながらみたい。

平野：僕はノート命だもんな(笑)

一同：(笑)

小島：重要なことを最初にホワイトボードに書いておいて、それについてみんなでやっているみたい授業スタイルでした。

平野：そうなるといろんな制約はむしろ必要無くなっていくのか。勉強になりました(笑)

平野：小学校での出前授業はどうだった？英語で全部説明したんだよね？

小島：最初のこういうことやるよっていう説明は(本日欠席している)笹田君がやって、僕たちは小学生のサポート役でした。

平野：うまいくった？

安田：喜んでもらえました。

平野：やっぱりこういうことをやるのは経験としてよかった？

一同：そうですね。

平野：子ども達に自分たちの英語は伝わってた？

小島：伝わってない。

平野：伝わってなかったの？！

小島：何回か言ったら1人の子が分かってくれて、その子が他の子に伝えてくれて。

榎：こっちが分かってなからたら何回もいろんな言い方で教えてくれたり。

平野：向こうが気を遣ってくれたんだ(笑)

藤野：子ども達は私たちの動作を見てすぐ手順を覚えたので、言葉で説明するより手を動かした方が伝わりました。

榎：ジェスチャーでは伝わるみたいな(笑)

平野：でもそれ大事だよね。言葉と身振り手振りでどうやって教えたらいいか、良い勉強になったね。

平野：今後、進学先や就職先でこういう機会があったらどう？次は長期で行きたいとか思う？

小島：長期で行きたいです。

平野：みんなもやっぱりそう？

一同：(うなずく)

藤野：今回短かったです。

平野：短かった？やっぱりもう1回行きたって気持ちの方が強い？

一同：はい。

藤野：向こうの生活に慣れて、みんなと仲良くなりかけた頃に帰ってきたので、友達もいっぱい作りたかったです。

平野：じゃあ、最後に、来年この研修への参加を考えている後輩達に一言お願いします。

小島：お金の心配をするよりも、興味があるなら行った方がいいです。

谷口：短期留学だったり、インターンシップだったり、色々な経験できるので、学生のうちだけだと思うんです。お金はかかるかもしれないけど、良い経験ができますよ。私たちは5年間も同じ学校で過ごすじゃないですか。でも、そういう経験をすることでちょっと新しい風を感じられるじゃないですか。あと、向こうに友達できたら英語力上がると思いますよ。

小島：俺まだホストファザーとメールしてますよ。

藤野：外国人の友達を作った方が英語の上達早いよって言われたことがあるんですけど、仲良くなろうとかもっと喋りたいっていう気持ちがあるからこそ勉強するんだと思います。だから、この研修はいい機会なんじゃないかな。

平野：今日は色々聞かせてありがとうございました。みんなの話を参考に、今後、この研修をよりよいものにしていきたいと思います。

世界へ翔たけ！- 旭川高専国際化の今 -



参加した学生は、最初は不安でいっぱいだったが、行ってみたら楽しくて不安はなくなった。行って良かったと口を揃えて言っていました。また、今後、英語をもっと勉強したいという気にもなったようで、彼らにとっては大変貴重な機会になったようです。また留学経験のない皆さんも、ぜひ、こうした機会を利用して、海外への第一歩を踏み出してほしいと思います。



水原ハイテク高校 交流事業

今日は、派遣プログラムについて、詳しく
レポートします。



この交流事業は、旭川市と姉妹都市の韓国・水原市との交流をきっかけに、水原ハイテク高等学校と本校が学術交流協定を締結したことにより始まったもので、学生の相互派遣及び水原ハイテク高等学校からの短期留学生受入を行っています。今年度は7月17日(水)～24日(水)までの間、同校の生徒8名を受け入れ、本校学生宅でのホームステイをはじめ、学生寮での宿泊、市内見学、授業参加等を行い、本校学生との交流を深めました。そして、8月23日(金)～30日(金)の日程で、本校学生5名が韓国へ派遣されました。

1日目 いざ韓国へ！

8/23 TIME TABLE

- 14:15 新千歳空港出発
- 18:00 韓国着
- 19:30 ホストファミリーとの集い
歓迎夕食会
- 21:00 ホームステイ先へ



初対面。
最初はやっぱり緊張します。

物質化学工学科1年
池田 美紅

今回初めて韓国に行ってきました。最近の国際関係では、反日感情が高まりつつある状況でした。ですが、水原ハイテク高校では温かく迎えてくれました。ホームステイ先のセビン君に休日にはかでかいプールや遊園地に連れて行ってもらい、めちゃくちゃ遊んできました。卒業したら個人で韓国に行きセビン君たちと一緒に遊びたいと思います。

今回僕は韓国に行っているいろいろなことを学びました。最初行く前は言葉が通じるかどうか自分を受け入れてもらえるかどうかなど色々心配していましたが、韓国人たちは皆いい人たちで、日本語もある程度話せたし、きちんと自分達を受け入れてくれるいい人でした。来年も行きたいです。



物質化学工学科1年
吉谷 志都岐

2・3日目 ホストファミリーの家で ホームステイ！

初日からホームステイでしたが、前回ホストファミリーとして受け入れた生徒の家だったので、みんなすぐに馴染み、色々な場所へ連れて行ってもらったりとそれぞれ交流を楽しみました。



ショッピングや
料理も楽しみの
ひとつ！

電気情報工学科2年
渡邊 蒼雲

4日目 水原ハイテク高校での 生活がスタート！

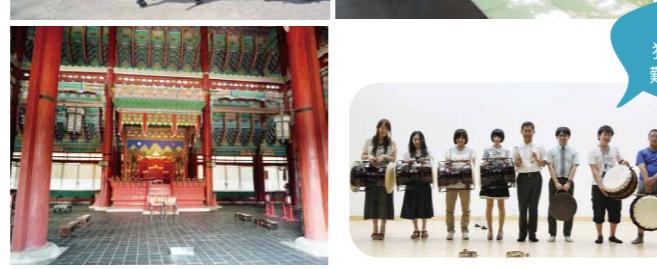
8/26 TIME TABLE

- 8:00 歓迎式・対面式
- 8:40 韓国語授業
- 9:40 三星電子弘報館見学
- 12:00 昼食
- 13:00 景福宮、仁寺洞通り見学
- 18:00 夕食
- 19:00 サムルノリ体験

3日間のホームステイを終え、この日から寄宿舎での生活が始まりました。学生対面式、韓国語授業、ソウル市での企業見学や市内見学の他、夕食後には韓国の伝統芸能である「サムルノリ」の体験を行う等、盛りだくさんの1日でした。



「サムルノリ」は
独特のリズムで
難しかったです。



今回の派遣を通じて、両校学生の相互理解がより一層深まるとともに、水原ハイテク高校生徒の勉学への姿勢や国際社会への適応力を身近に感じ、とても良い刺激になったようです。

5日目 企業見学&韓国民族村へ

8/27 TIME TABLE

- 7:00 朝食
- 8:40 韓国語授業
- 9:40 韓国民俗村見学
- 11:30 昼食
- 13:30 APシステムズ見学
- 18:00 夕食
- 19:00 自由時間

昨日に引き続き、企業見学と龍仁市にある韓国民族村へ見学に行きました。夕食後は、ホストの生徒達と自由時間を楽しみました。



6日目 いろんな授業も受けました

この日は、韓国語の授業の他、実際に水原ハイテク高校の授業にも参加しました。クラスにもすぐ馴染み、英語やジェスチャーを使って交流を深めました。

また、出発前に何度も話し合い、準備をしてきた旭川高専や日本文化を紹介する講演会も行いました。



8/28 TIME TABLE

- 7:00 朝食
- 8:40 韓国語授業
- 9:40 授業参加(音楽・演劇・英語)
- 12:30 昼食
- 13:30 校内見学
- 17:00 講演会準備
- 18:00 夕食
- 19:30 旭川高専講演会

旭川高専の姉妹校、
水原ハイテク高校との交換
留学に参加しました。
韓国では民俗村や仁寺洞通り訪問、企業見学をしました。
またサムルノリという民族遊びの体験をしたり、体育や韓国語の授業も受けました。

ご飯も美味しい最高でした！



物質化学工学科2年
渡辺 珠巳

物質化学工学科2年
扇原 妃乃

私は水原ハイテク高
校交換留学に参加させて
いただき、様々なことを学びました。
短い期間でしたが異文化に触れ、
価値観の違いを感じ、新しい経験が
たくさんできました。それが自分の視
野・幅・可能性を広げてくれたと思
います。これらは高専生活最高で大
切な思い出です。またグローバル
な体験をしてみたいと思います。

7日目 みんなとの交流も今日で最後

8/29 TIME TABLE

- 7:00 朝食
- 8:00 読書
- 8:40 韓国語授業
- 9:40 授業参加
(体育・電気電子制御)
- 12:30 昼食
- 13:30 進路TALK CONCERT
- 17:00 送別会
- 18:00 夕食
- 19:00 自由時間

この日も授業等への参加がメインでした。
みんなと交流できるのは今日で最後ということで、夕方には送別会を開いてもらい、寄宿舎に戻った後もホストの生徒達と交流を深めました。



8日目 たくさんの想い出を胸に帰国

8/30 TIME TABLE

- 5:30 集合
- 6:30 仁川空港へ
- 10:10 仁川空港出発
- 12:55 新千歳空港着

早朝の出発にも関わらず、大勢の生徒・教員が見送りに駆けつけてくれ、別れを惜んでいました。
そして、たくさんの想い出を胸に帰国途につきました。

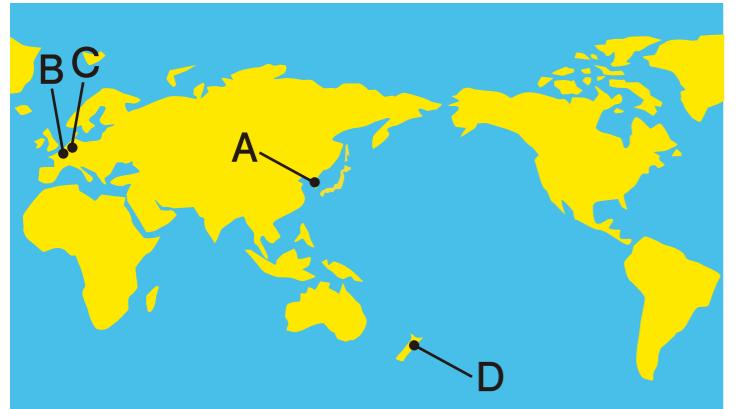


お世話になりました！



協定を締結している教育・研究機関

本校では、下記の外国の教育・研究機関と協定を締結しており、学生及び教職員の交流を進めています。



個人留学

本校で実施している国際交流事業の他、個人で留学先を見つけて短期・長期の留学をする学生も年々増えてきています。実際に個人で留学した学生にお話を伺いました。

長期留学



『Start out of Your Curiosity』
私は昨年8月から10ヶ月間、アメリカ留学をしてきました。アメリカの高校での数学や科学は、高専での授業の延長線上にあると実感しました。大学と企業とリンクした授業や、学生が意見を発することから「授業=学ぶ」が始まることに驚きました。皆さん高専生にこそアメリカを見て、体感して、未来を感じてほしいと思います。

物質化学工学科2年
岡 紗雪



旭川高専では、様々な形で国際化を進めています。今回紹介した以外にも、オールイングリッシュによる授業、専攻科の海外インターンシップ、ISTS（国際シンポジウム）など、様々な取り組みを行っています。イースタン工科大学語学研修と水原ハイテク高等学校交流事業については、来年度も実施予定ですので、興味を持った方はぜひ参加してみてください！年度末に対象学年のみなさんへお知らせする予定です。

短期留学



僕は英語が苦手でTOEICの点数に伸び悩んでいたので、この苦手意識を拭払るために留学を決意しました。留学先にフィリピンを選んだのは安価にマンツーマンの授業が受けられるからでした。フィリピンでは毎日8時間授業で、その内4時間はマンツーマンだったのでとても疲れましたが、放課後や週末に他の国の人と海で遊んだり、パーティーをしたりと充実した日々を送ることが出来ました。

物質化学工学科4年
梅田 大地



全国高専プログラミングコンテストを開催しました

10月13日（日）・14日（月）に、本校を主管校として、全国高等専門学校第24回プログラミングコンテストを開催しました。全国各地から100チームの高専生、海外（ベトナム・モンゴル・中国）から3チームが集い課題部門・自由部門・競技部門においてプログラミング技術を競いました。また、学生交流会として旭川高専学生会が実施したbingo大会も大いに盛り上がり、学生同士交流を深めました。今回の運営にあたっては、教職員はもとより多くの補助学生にも協力いただき、おかげをもちまして無事大会を開催することができました。学生及び保護者のみなさまに感謝申し上げます。



第4学年 見学旅行へ行きました

10月16日（水）～18日（金）の3日間、各学科ごとに道内にある6企業を訪問する見学旅行を実施しました。

この見学旅行は、実際のものづくりの現場を体感してもらうこと、学生同士の親睦を深め、集団生活に必要なルールを学ぶことなどを目的に実施しています。初日は台風の影響でいいくの天気となりましたが、訪れた工場では実際の仕事風景や高度な知識に触れることができ、とても有意義な見学となりました。また、宿泊先のホテルでは、友人達と楽しい時間を過ごすことができたようで、短い旅行の中でも多くのことを経験し、メリハリのある、充実した3日間でした。



第51回高専祭を実施しました

10月25日（金）の前日祭を皮切りに、27日（日）まで、第51回目となる高専祭を実施しました。当日は不安定な天候でしたが、各飲食・展示パートや催しものは、たくさんの人たちで賑わっていました。また、来年度からの指定ジャージ投票で決める「ジャージコンテスト」も開催され、本校学生をはじめ、保護者のみなさんや一般の来場者など、たくさんの方々に投票していただきました。



高専ロボコン2013北海道大会優勝！

10月27日（日）に、函館高専第一体育館において、「アイデア対決・全国高専ロボットコンテスト2013北海道地区大会」が開催され、道内4高専8チームが全国大会をかけて熱戦を繰り広げました。

今年の競技課題は「Shall We Jump?」。生き物を模したバラエティあふれるロボット達が、学生と協力して大縄跳びをする競技で、今回も昨年同様コントローラー無しで競技を行うため、学生と縄回しロボットやジャンパー・ロボットがどのようにコミュニケーションを取り、タイミングを合わせながら課題をクリアしていくのかが見どころの一つでした。

本校は5年生主体のAチーム「JANPY（ジャンピー）」と4年生主体のBチーム「カメリカルズ」の2チームが出場し、なんと決勝は昨年に引き続き旭川高専同士の勝負となり、激戦の末、見事旭川高専Bチームが優勝を果たしました。優勝した旭川高専Bチームは、11月24日（日）に東京・両国国技館において開催される全国大会に出場します。

ロボコンについては、次号の学校だよりにおいて詳しくレポートする予定ですのでお楽しみに！

僕たち ・私たちの青春!



本校には30のクラブ・同好会があり、日夜練習や活動に励んでいます。今回は、柔道部・テニス部・吹奏楽部のみなさんに、クラブ活動にかける熱い思いを語ってもらいました。



柔道部

柔道部は現在12人で活動しています。少ないので皆仲がよく先輩後輩間の隙間もなく和気あいあいと練習に励んでいます。ですが柔道は基本的には個人種目なので、時にはライバルとしてお互いの能力を高め合っています。専体連では団体戦で北海道大会を4年連続優勝し全国大会に進んでいます。来年以降も優勝できるようにがんばっていきたいです。

制御情報工学科5年
富山 溪輔

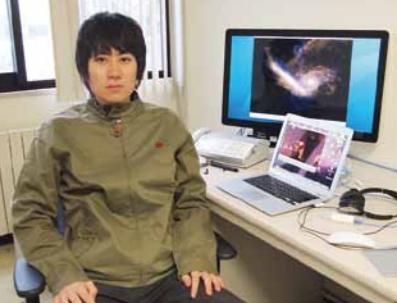


先生の横顔

このコーナーでは先生から色々なお話を伺い、授業だけでは分からないその素顔に迫ります！

File 2 松井 秀徳

一般理数科
准教授



どんな科目を担当していますか？

2013年度は「物理I」、「応用物理II」、「応用物理実験」、「地学」を担当しています。

その科目の勉強の仕方や試験対策などこそり教えて下さい！

物理学面白いと思うことが1番大事です。勉強の仕方としては、「友達に物理を教えてあげる」ことがいい勉強方法だと思います。他人に教えるためには物理の十分な理解やイメージが必要ですし、教えることによって自分の知識が整理されますから。試験の点数をものすごい気にする学生が多いですが、試験の点数よりも、自分たちの住んでいる宇宙の物理法則を知りたいと思うこと、物理学を楽しむことのほうが重要だと思います。

先生の趣味や特技があれば教えて下さい。

趣味はUKロックを聴くことです。休日に妻と六本木の「アビーロード」というお店に行き、The Parrotsのライブを見ることが楽しみの一つになっています。僕が仕事のストレスから解放される唯一の場所です。あと、UKロックをギターでコピーすることも趣味です。

先生が学生時代に夢中になっていたことってありますか？

「ナインティナインのオールナイトニッポン」です。高校生の時からほぼ欠かさず聴いています。ヘビーリスナーです。

学生の皆さんへ、充実した学校生活を送るためのアドバイスをお願いします。

昔、アントニオ猪木がこう言いました、「人は歩みを止めた時に、そして挑戦を諦めたときに年老いてゆくのだと思います」と。この言葉にある通り、学生の皆さんには歩み続けてほしい、そして積極的に挑戦し続けてほしいと思っています。



テニス部

我々高専硬式テニス部は高体連の地区大会、専体連の全道や全国大会で数々の優秀な成績を収めています(一部の強い方々の力)。そんな僕らテニス部の部活内容は好きな時間に来て好きなようにテニスをする感じです(一部本気でやっている)。このように基本的には自由で楽しく部活をしていますが、大会の一ヶ月前になると部員が急に増え、狂ったように活気のある姿を目撃できる良い部活動です。

電気情報工学科3年
長野 泰羅



吹奏楽部

私たち吹奏楽部は現在男子16人、女子14人の計30人で活動しています。練習は毎日放課後欠かさずに行っています。その成果は入学式や卒業式などの学校行事や、夏に行われる吹奏楽コンクール、そして毎年秋に開催している定期演奏会など、様々な場所で発揮しています。今年のコンクールでは全道大会に出場し、銀賞でした。来年こそはさらに上の成績を残すため、毎日練習に励んでいます。

電気情報工学科3年
中沢 恵太



こんな授業 やってます

センシング工学I

この科目は、「計測工学」を中心に授業を進めています。「物事を計測する」ことは、モノづくりにおいては欠かすことのできない重要な取り組みの一つです。“長さ”を例に挙げると、その定義、測り方の原理、測るための様々な装置について、機械分野だけでなく他分野（電気や化学）の知識と組み合わせながら学んでいます。

機械システム工学科
教授 後藤 孝行



計測工学I

計測工学はシステム制御情報工学科第4学年で開講しています。様々な「もの」（長さ、重さ、温度など）を測るときに利用される測定原理や測定機器の構造に始まり、より正確な測定値を出すためのデータの取り扱い方（統計的手法）まで学びます。さらに、測定結果を拡大・増幅する手法についても理解を深めるなど、非常に幅広い領域に渡って学ぶことができる科目です。

システム制御情報工学科
准教授 中村 基訓



電気機器工学

電気機器工学とは、電気を作る発電機、電気を送る変圧器、電気を動力に変える電動機、電気を上手に使うパワーエレクトロニクスの仕組み、利用方法を学ぶ科目です。

本科目は、いま注目を浴びている再生可能エネルギーを用いた発電である太陽光、風力を上手に活用するために重要な電力変換技術を学ぶことができます。

電気情報工学科
准教授 井口 嶽



微生物学

物質化学工学科に入学した全ての学生に、微生物の利用技術や治癒方法を学んで貢っています。微生物の体は余りにも小さく、顕微鏡なしでは見えない生きものです。しかし、私たちが毎日使っている味噌やしょう油は、コウジカビ・アルコール発酵酵母・乳酸菌なしでは製造できません。微生物学の講義では、そんな微生物たちと仲良く付き合うための礼儀作法を習得します。

物質化学工学科
教授 富樫 嶽



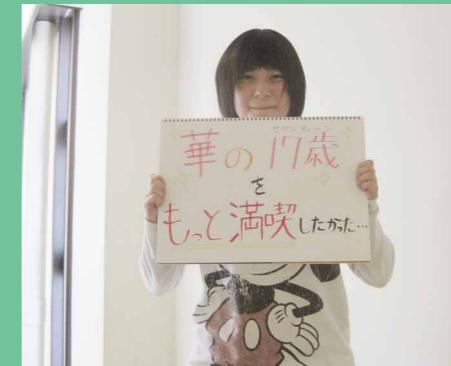
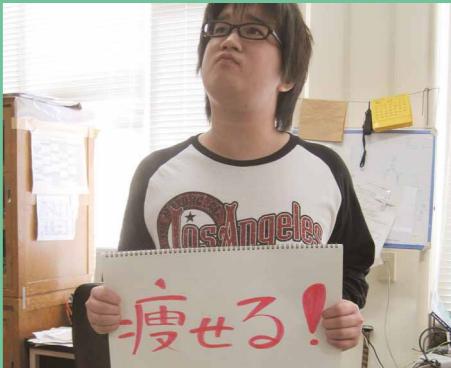
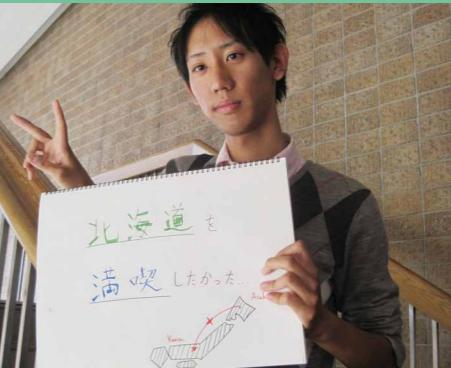
ANCT - アンクト ボイス - Voice

NO.2

テーマ：
今年やり残したこと
ありますか？

2013年も残りわずかとなりました。今年のお正月に立てた目標や今年こそチャレンジしよう！と思っていたこと、色々あったけど、なかなか実行できないんですね。ということで、今回はみなさんに今年やり残していることを聞いてみました。
みなさん、残りあと1ヶ月、実行できることを祈ってます！

回答してくれたみなさん、撮影に協力してくれた写真同好会のみなさん、ありがとうございました！



平成25年度 行事予定 (12月～3月)

12月2日(月)～6日(金)	後期中間試験(本科)
13日(金)	学生会役員選挙
24日(火)～1月6日(月)	冬期休業
1月7日(火)	授業開始
14日(火)	学習到達度試験(本科3年)
16日(木)	学生総会
18日(土)	平成26年度入学者選抜(推薦)試験日
30日(木)	就職模擬面接(本科4年・専攻科1年)
31日(金)	卒業研究発表会(本科5年)
2月7日(金)	特別研究発表会(専攻科2年)
12日(水)～19日(水)	学年末試験(本科5年)
16日(日)	平成26年度入学者選抜(学力)試験日
17日(月)	休業日
17日(月)～3月31日(月)	学年末休業(専攻科)
21日(金)～28日(金)	学年末試験(本科1～4年)
3月3日(月)～7日(金)	特別指導期間
3日(月)～31日(月)	学年末休業(本科)
14日(金)	卒業証書授与式(本科)、修了証書・学位記授与式(専攻科)



編集後記

「学校だより」117号をお届けします。今年度から、旭川高専の中にはいる学生や教員の表情がより伝わりやすいものを提供できるようにしています。今回はその第3弾です。旭川高専は、個性的で面白い魅力のある学生や教職員であふれています。FANCTを通じて旭川高専(ANCT)の「Fun(楽しさ)」が伝われば幸いです。

広報委員会 学校だより編集部会員 松井 秀徳

FANCT vol.117

「FANCT」…旭川高専を表す「ANCT」に「F」をつけて“Fun”(楽しい、愉快な)の音を付けました。旭川高専の楽しい情報を伝えること、また、読むのが楽しみな学校だよりになるよう名付けました。



独立行政法人国立高等専門学校機構

旭川工業高等専門学校

〒071-8142 北海道旭川市春光台2条2丁目1番6号

TEL 0166-55-8103(総務課総務係)

FAX 0166-55-8082

<http://www.asahikawa-nct.ac.jp>